

## 目次

## 公認心理師のための法律相談 Q&amp;A100

序	i
はしがき	iii
条文の仕組み	v

## I 資格・免許

Q 1	公認心理師の資格	2
Q 2	名称独占	5
Q 3	共管	7
Q 4	成年後見制度と欠格事由	9
Q 5	一般犯罪と資格制限	13
Q 6	業務関連法規違反と資格制限	18
Q 7	公認心理師の登録取り消しと資格制限	20
Q 8	行政処分	22
Q 9	公認心理師の登録取り消し等の手続き	24
Q 10	公認心理師と職務外の相談	30
Q 11	公認心理師と臨床心理士	32
Q 12	公認心理師と精神保健福祉士	34

## II 倫理・責務

Q 13	信用失墜行為の禁止	38
Q 14	民間療法についてのアドバイス	40
Q 15	多重関係の禁止	42
Q 16	他の心理職者の倫理違反を知った場合の対応	46

Q17	公務員の倫理と公認心理師としての倫理	48
Q18	スクールカウンセラーの身分関係	50
Q19	業務妨害	54
Q20	社交儀礼と公認心理師の倫理	56

### Ⅲ 秘密保持義務（守秘義務）

Q21	秘密保持義務の違反	60
Q22	秘密保持義務と倫理基準	63
Q23	対象者のカウンセリング内容をその家族に伝えてよいか	64
Q24	対象者のカウンセリング内容を主治医に伝えてよいか	66
Q25	スクールカウンセラーの報告義務	68
Q26	関係者会議での情報共有	71
Q27	秘密保持義務と報告義務	73
Q28	未成年者の契約と秘密保持義務	76
Q29	連携義務と秘密保持義務	79
Q30	私的な場での出会いと秘密保持義務	83
Q31	社員の心理支援と秘密保持義務	85
Q32	児童虐待の通告	86
Q33	DVの通報	89

### Ⅳ 個人情報の保護

Q34	個人情報とは何か	92
Q35	死者に関する情報	99
Q36	安全管理義務とその違反	101
Q37	個人情報の開示請求	110
Q38	開示拒否	115
Q39	カウンセリングの記録と個人情報の保護	117
Q40	個人情報の破棄	121

## V 主治医との連携

- Q41 主治医の存在を確認する義務はあるのか…………… 124
- Q42 主治医の方針と公認心理師の方針とが異なる場合(1)…………… 127  
：スクールカウンセラーとしての公認心理師
- Q43 主治医の方針と公認心理師の方針とが異なる場合(2)…………… 130  
：企業内に勤務している公認心理師
- Q44 主治医の方針と公認心理師の方針とが異なる場合(3)…………… 133  
：私設心理相談室における公認心理師
- Q45 主治医以外の医師の意見・紹介を求められた場合の対応 …… 135
- Q46 クライアントが主治医との連携を拒絶した場合 …………… 137
- Q47 主治医の指示を受けることができない場合 …………… 139

## VI 公認心理師の業務

- Q48 書面による同意…………… 142
- Q49 ボランティア活動も業務とされるのか…………… 144
- Q50 意見書の作成依頼に応じなければならないか…………… 146
- Q51 途中からの料金変更の可否…………… 148
- Q52 心理支援の中断と損害賠償…………… 150
- Q53 前払いシステム…………… 153
- Q54 研究目的の検査につき通常料金を求めることの可否…………… 156

## VII 公認心理師と民事責任

- Q55 心理支援契約…………… 160
- Q56 未成年者の契約…………… 165
- Q57 心理支援契約の違反…………… 168
- Q58 不法行為責任と債務不履行責任…………… 172
- Q59 国家賠償法に基づく責任(1)：公立学校の場合…………… 178

Q60	国家賠償法に基づく責任(2)：民間委託の場合	181
Q61	未成年者の民事責任：生徒間事故と公認心理師	184
Q62	精神障害による責任無能力者の加害行為	189
Q63	クライアントの自殺と損害賠償請求	194
Q64	入院患者（クライアント）の自殺	200
Q65	いじめによる生徒の自殺	208
Q66	公認心理師とインフォームド・コンセント	213
Q67	インフォームド・コンセントが不十分だった場合の法的責任	215
Q68	損害賠償請求（民事紛争）の解決プロセス	218

## VIII 公認心理師と刑事責任

Q69	プライベートでの違法行為で処分を受けるのか	226
Q70	前科はどのようにして知らされるのか	230
Q71	刑事手続き	233

## IX 労務管理

Q72	勤務時間と残業	240
Q73	サービス残業・サービス早朝出勤	244
Q74	口約束の労働契約と時間外勤務	246
Q75	労働時間と休憩	248
Q76	休日労働	250
Q77	実習生の受け入れと労働時間の問題	253
Q78	経営不振と賃金の減額	255

## X 労災保険と安全衛生

Q79	勤務中の負傷	258
Q80	休憩時間中の負傷	261

Q81 うつ病の発症と労災認定	263
Q82 職員の健康管理（非常勤職員の定期健康診断）	266

## XI ハラスメント

Q83 セクハラを受けた場合の対処	270
Q84 事業主のパワハラに対する対処	274
Q85 SNS等による公認心理師間での誹謗中傷	278
Q86 ハラスメントの疑いをかけられた場合の対処	280
Q87 クライエントのつきまといへの対処	283
Q88 クライエントによる暴言や嫌がらせへの対処	285
Q89 クライエントからの性的な求めへの対処	287
Q90 弁護士への法律相談料を加害者に請求できるのか	289

## XII + $\alpha$ の学び

+ $\alpha$ 91 親類縁者と「親族」	292
+ $\alpha$ 92 成年後見制度	294
+ $\alpha$ 93 相続制度	296
+ $\alpha$ 94 意思能力と行為能力	298
+ $\alpha$ 95 遺族による損害賠償請求	299
+ $\alpha$ 96 学校事故と安全配慮義務	301
+ $\alpha$ 97 刑罰の種類	303
+ $\alpha$ 98 親告罪と告訴	304
+ $\alpha$ 99 虐待と通告・通報義務の程度	305
+ $\alpha$ 100 インフォームド・コンセントについて	306